

サンフレンズだより

2013年度事業計画、 予算が決定しました

No.70 2013. 3. 29
発行：社会福祉法人 サンフレンズ
編集：法人本部 事務局
〒167-0023
杉並区上井草3-33-10
03-3394-9833



はじめに

来年4月に法人設立20周年を迎えるサンフレンズは、大きな転換期に来ています。事業開設以来、区から無償借用してきた「ふれあいの家」が2013年4月から有償貸与に切り替わります。また、「友愛の灯協会」が区から受託し、サンフレンズが受け継いだ「杉並区立和田みどりの里」も4月から「杉並区立和田サービス付き高齢者向け住宅」（以下、「サ高住」とする）に転用となります。

更に、長年に渡り、法人の主要事業として財政の大きな柱であった通所介護事業が、利用ニーズの多様化に合わせ数多く作られた他事業所との競合により、以前のような収入を上げられなくなっています。「杉並・老後を良くする会」の給食サービスから拡充した区の配食サービスも縮小方向にあり、ふれあいの家の収入が減っています。

2009年の介護報酬のプラス改定と介護職員処遇改善交付金の実施は、国の社会保障財政問題と政治的混迷から3年間をもって終わり、2012年の改定は再びマイナスへと戻ってしまいました。当法人はそれに対して十分な対応が出来ず、結果2008年度以来の大幅なマイナス収支になる見込みです。

2013年度の事業計画を作成するにあたり、改めてサンフレンズとその母体である3団体の歩みを振り返り、その設立の理念と姿勢・努力を引き継がなければならないと思いを強めています。多くの困難が立ちはだかっていますが、前年度の到達点を踏まえ、法人の役職員の力を結集し、多くの事項で前進できるように努めていきます。

【事業運営面】

以下の6項目を重点課題として取り組みます。

1. 設立の理念に基づいた援助の実践
2. 地域の福祉課題へのアプローチ
3. 運営している諸事業の改革
4. 職員を大切に作る仕組みづくり
5. 災害対策と感染症対策
6. 組織改革・規程改正

1. 設立の理念に基づいた援助の実践

(1) “その人らしく生きる”の追求

特別養護老人ホームにおける医療ニーズの高い居住者の増加や全体的な重度化、地域における孤立死の増加や虐待や介護困難ケースの増加、それを背景にした特養入居待機者の増加といった課題は改善されることなく経過しています。サンフレンズはそれらの課題に対し、設立の理念にある“その人らしく生きる”ことを憲法25条生存権の保障と関係づけて、援助の中で常に追求します。

(2) “居住者・利用者主体”と“自立支援”の追求

居住者、利用者への援助実践が職員側の都合による管理的なものになっていないか、また、“してあげる”、“してしまう”介護になっていないか、を問いかけ直し、援助計画の段階から“居住者・利用者主体”と“自立支援”の原則が徹底されるよう意識化を図ります。

(3) 策定した倫理規程への理解

2011年度から検討し2012年度末に策定した倫理規程を、職員が日常の仕事において意識するように全体に広めます。

2. 地域の福祉課題へのアプローチ

(1) 地域の福祉課題の把握

法人で統一した調査票を作成するなどして、法人の事業所全体で関わっている地域の高齢者や家族の福祉課題に取り組みます。

(2) 「困ったときのSOS地域で恩送り事業」の継続・発展

開始3年目のSOS事業は実績の上積みに努力する一方で、その事業継続のあり方を検討します。

(3) 新規事業についての研究開始

以前から課題となっている訪問看護ステーションなどの在宅医療サービスに加え、新たな食事サービスの実施や通所介護事業所の立ち上げの可能性、更に保育分野など高齢者福祉事業以外での事業実施について研究を開始します。また、直営だけでなくその経営形態についても研究します。

3. 運営している諸事業の改革

(1) 特別養護老人ホームへの速やかな新規入居

ターミナルケアや医療ニーズへの対応に努める一方で、区民の切実な入居要望に応えるため速やかな新規入居を進めます。

(2) 通所介護事業のサービス内容の検討

昨年度の時間延長による内容充実に取り組み、軽度者や今後の利用者を考慮した新しいサービスを検討します。「お泊りデイ」の試行を実施します。

(3) 24時間定期巡回型訪問介護サービスの拡充

訪問介護は24時間定期巡回型訪問介護サービスへ向けて、運営方法と職員体制の具体的な検討をします。まずは夜間訪問介護の実施を目指します。

(4) 居宅介護支援事業の職員養成・業務の内容充実

年度前半で事業所の統合を行い、職員の養成とケアマネジメント業務の内容充実を図ります。

(5) 地域包括支援センターの事業拡充

職員増員による相談体制の充実を図り、業務内容の拡充につなげます。

(6) 配食サービスの実施形態の検討

区の委託事業の内容変更に伴う規模の縮小を契機に法人独自の食事サービスの実施形態を検討します。

(7) サ高住のサンフレンズらしさの追求

2013年度新たに始まるサ高住の入居者管理業務は、和田ふれあいの家、訪問介護センターとハード・ソフト両面の連携運営のもと、サンフレンズらしさを追求し、その安定実施に向け努力します。

4. 職員を大切に作る仕組みづくり

(1) 職員の育成への意欲的な取り組みの実施

他法人との交流など、研修を充実させます。

(2) 職員の健康管理面の取り組み強化を継続

健康管理意識を強め、相談機関を活用します。

(3) ハラスメント防止と根絶への取り組み開始

規程を策定し、委員会や事務局を立ち上げます。

5. 災害対策と感染症対策

(1) 災害対策

事業継続計画の策定（BCP）、緊急連絡システムの活用、緊急時必要物品の配備を進めます。

(2) 感染症対策

対応指針の策定と感染対策の訓練を実施します。

6. 組織改革・規程改正

昨年度の組織経営プロジェクトの各チームの検討をもと、組織の改革に着手します。その中で地域福祉に関わる部署について検討します。

組織改革に合わせた各種規程改正や、各種要綱等の改正作業も進めます。

【経営面】

以下の3項目を、重点課題として取り組みます。

1. 最大限の収入の確保
2. 可能な限りの支出の抑制
3. 中長期の財務計画の策定

1. 最大限の収入の確保

(1) 特別養護老人ホームの利用率安定化

サンフレンズ善福寺は昨年度同様の利用率を維持します。上井草園は、新規入居者決定のシステムを改善させるなど利用率の改善を図り、年間96.0%の達成を目指します。

(2) 通所介護事業の定員変更の実施

事業改善のため3事業所の定員を減員します。昨年度の実績低迷から改善することは容易ではありませんが、和田ふれあいの家の改装など好条件を活かして、全体的に利用実績回復を目指します。

(3) 居宅介護支援事業の特定事業所加算所得復活

全事業所での特定事業所加算所得を復活させ、実績件数の増加に努め、黒字化を達成します。

(4) 訪問介護事業の実績回復

障害福祉サービスの実績が上がっていません。身体介護の要望に応えられる体制を強化し、低下した実績を回復基調に乗せることを目標にします。

2. 可能な限りの支出の抑制

新入職員の補充による常勤職員の人件費は前年度より増加します。その分超過勤務時間や派遣職員の削減、非常勤職員人件費の抑制など、人件費全体の増加を抑制します。事業費、事務費は、全項目を削減対象として扱い抑制を図ります。

3. 中長期の財務計画の策定

法人の財政安定化を図り、見通しをもった経営をするために、専門機関の援助を受けて財務分析から中長期の財務計画の策定をします。改善しつつあるサンフレンズ善福寺の収支は、組織経営プロジェクトでの協議も活かして計画化します。

2013年度 予算

(単位:円)

勘定科目	2013年度予算	2012年度予算	差異	備考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	1,442,682,820	1,410,043,000	32,639,820	
施設介護料収入	382,462,000	378,128,000	4,334,000	
介護報酬収入	344,216,000	340,838,000	3,378,000	
利用者負担金収入(公費)	1,624,000	1,556,000	68,000	
利用者負担金収入(一般)	36,622,000	35,734,000	888,000	
居宅介護料収入	606,227,000	577,020,000	29,207,000	
(介護報酬収入)	545,463,000	518,560,000	26,903,000	
介護報酬収入	498,984,000	471,273,000	27,711,000	
介護予防報酬収入	46,479,000	47,287,000	△ 808,000	
(利用者負担金収入)	60,764,000	58,460,000	2,304,000	
介護負担金収入(公費)	3,492,000	3,336,000	156,000	
介護負担金収入(一般)	51,957,000	49,561,000	2,396,000	
介護予防負担金収入(公費)	622,000	682,000	△ 60,000	
介護予防負担金収入(一般)	4,693,000	4,881,000	△ 188,000	
地域密着型介護料収入	66,224,000	58,420,000	7,804,000	
(介護報酬収入)	59,602,000	52,631,000	6,971,000	
介護報酬収入	59,602,000	52,631,000	6,971,000	
介護予防報酬収入	0	0	0	
(利用者負担金収入)	6,622,000	5,789,000	833,000	
介護負担金収入(公費)	49,000	44,000	5,000	
介護負担金収入(一般)	6,573,000	5,745,000	828,000	
介護予防負担金収入(公費)	0	0	0	
介護予防負担金収入(一般)	0	0	0	
居宅介護支援介護料収入	92,511,820	87,590,000	4,921,820	
居宅介護支援介護料収入	72,946,820	68,025,000	4,921,820	
介護予防支援介護料収入	19,565,000	19,565,000	0	
利用者等利用料収入	166,741,000	158,103,000	8,638,000	
施設サービス利用料収入	7,496,000	7,438,000	58,000	
居宅介護サービス利用料収入	13,931,000	12,752,000	1,179,000	
地域密着型介護サービス利用料収入	371,000	368,000	3,000	
食費収入(公費)	738,000	690,000	48,000	
食費収入(一般)	107,688,000	100,209,000	7,479,000	
居住費収入(公費)	172,000	171,000	1,000	
居住費収入(一般)	33,189,000	33,319,000	△ 130,000	
その他の利用料収入	3,156,000	3,156,000	0	
その他の事業収入	128,517,000	150,782,000	△ 22,265,000	
補助金事業収入	10,258,000	12,286,000	△ 2,028,000	
市町村特別事業収入	0	0	0	
受託事業収入	117,740,000	137,977,000	△ 20,237,000	
その他の事業収入	519,000	519,000	0	
障害福祉サービス事業収入	0	324,000	△ 324,000	
自立支援給付費収入	0	324,000	△ 324,000	
介護給付費収入	0	324,000	△ 324,000	
障害児施設給付費収入	0	0	0	
利用者負担金収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	36,000	△ 36,000	
補助金事業収入	0	0	0	
受託事業収入	0	36,000	△ 36,000	
その他の事業収入	0	0	0	
借入金利息補助金収入	2,160,000	2,160,000	0	
経常経費寄附金収入	1,610,000	2,217,000	△ 607,000	
受取利息配当金収入	835,000	835,000	0	
その他の収入	6,603,000	7,910,000	△ 1,307,000	
受入研修費収入	2,376,000	2,382,000	△ 6,000	
利用者等外給食収入	4,227,000	4,227,000	0	
雑収入	0	1,301,000	△ 1,301,000	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計(1)	1,453,890,820	1,423,489,000	30,401,820	
支出				
人件費支出	1,055,204,800	1,034,923,000	20,281,800	
役員報酬支出	1,161,000	1,161,000	0	
職員給料支出	467,497,300	434,895,000	32,602,300	
職員賞与支出	98,383,000	93,867,000	4,516,000	
非常勤職員給与支出	362,124,000	362,298,000	△ 174,000	
派遣職員費支出	13,920,000	29,327,000	△ 15,407,000	
退職給付支出	1,522,000	1,655,000	△ 133,000	
法定福利費支出	110,597,500	111,720,000	△ 1,122,500	
事業費支出	191,022,000	199,932,000	△ 8,910,000	
給食費支出	81,331,000	92,097,000	△ 10,766,000	
介護用品費支出	12,701,000	12,701,000	0	
医薬品費支出	0	0	0	
診療・療養等材料費支出	0	0	0	
保健衛生費支出	7,715,000	7,715,000	0	
医療費支出	1,477,000	1,477,000	0	
被服費支出	44,000	44,000	0	
教養娯楽費支出	4,149,000	4,149,000	0	
日用品費支出	23,000	23,000	0	
水道光熱費支出	61,469,000	61,756,000	△ 287,000	
燃料費支出	50,000	50,000	0	
消耗器具備品費支出	6,830,000	7,192,000	△ 362,000	
保険料支出	0	0	0	
賃借料支出	2,300,000	2,300,000	0	
教育指導費支出	0	0	0	
就職支度費支出	0	0	0	
葬祭費支出	0	0	0	
車輛費支出	12,371,000	9,545,000	2,826,000	
管理費返還支出	0	0	0	
雑支出	562,000	883,000	△ 321,000	

事務費支出	214,690,188	237,753,000	△ 23,062,812
福利厚生費支出	2,877,000	2,877,000	0
職員被服費支出	62,000	62,000	0
旅費交通費支出	880,000	880,000	0
研修研究費支出	6,038,000	6,038,000	0
事務消耗品費支出	7,148,000	7,121,000	27,000
印刷製本費支出	2,871,000	2,871,000	0
水道光熱費支出	60,000	60,000	0
燃料費支出	0	0	0
修繕費支出	5,071,000	5,171,000	△ 100,000
通信運搬費支出	8,417,000	8,417,000	0
会議費支出	37,000	37,000	0
広報費支出	249,000	249,000	0
業務委託費支出	146,656,000	167,650,000	△ 20,994,000
手数料支出	1,526,000	1,526,000	0
保険料支出	7,048,000	7,048,000	0
賃借料支出	7,902,000	7,902,000	0
土地・建物賃借料支出	6,734,188	8,281,000	△ 1,546,812
租税公課支出	2,000,000	2,000,000	0
保守料支出	5,400,000	5,849,000	△ 449,000
渉外費支出	180,000	180,000	0
諸会費支出	1,102,000	1,102,000	0
雑支出	2,432,000	2,432,000	0
利用者負担軽減額	645,000	645,000	0
支払利息支出	7,078,000	7,078,000	0
その他の支出	3,006,000	3,006,000	0
利用者等外給食費支出	3,006,000	3,006,000	0
雑支出	0	0	0
流動資産評価損等による資金減少額	0	586,000	△ 586,000
徴収不能額	0	586,000	△ 586,000
事業活動支出計(2)	1,471,645,988	1,483,923,000	△ 12,277,012
事業活動資金収支差額(3=1-2)	△ 17,755,168	△ 60,434,000	42,678,832
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収入	3,578,000	3,578,000	0
施設整備等補助金収入	0	0	0
設備資金借入金元金償還補助金収入	3,578,000	3,578,000	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
設備資金借入金収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	19,000	△ 19,000
車輛運搬具売却収入	0	19,000	△ 19,000
器具及び備品売却収入	0	0	0
その他の固定資産売却収入	0	0	0
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	3,578,000	3,597,000	△ 19,000
支出			
設備資金借入金元金償還支出	23,710,000	23,710,000	0
固定資産取得支出	1,280,000	14,667,000	△ 13,387,000
土地取得支出	0	0	0
建物取得支出	0	9,100,000	△ 9,100,000
車輛運搬具取得支出	0	862,000	△ 862,000
器具及び備品取得支出	1,280,000	4,205,000	△ 2,925,000
その他の固定資産取得支出	0	500,000	△ 500,000
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
その他の施設整備等による支出	0	0	0
施設整備等支出計(5)	24,990,000	38,377,000	△ 13,387,000
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 21,412,000	△ 34,780,000	13,368,000
その他の活動による収支			
収入			
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
長期運営資金借入金収入	0	0	0
長期貸付金回収収入	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
事業区分間長期借入金収入	0	0	0
拠点区分間長期借入金収入	0	0	0
事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0
拠点区分間長期貸付金回収収入	0	0	0
事業区分間繰入金収入	0	0	0
拠点区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	0	0	0
支出			
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
長期貸付金支出	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0
積立資産支出	8,675,000	8,675,000	0
退職給付引当資産支出	8,675,000	8,675,000	0
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0
事業区分間繰入金支出	0	0	0
拠点区分間繰入金支出	0	0	0
その他の活動による支出	0	0	0
その他の活動支出計(8)	8,675,000	8,675,000	0
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	△ 8,675,000	△ 8,675,000	0
予備費支出(10)	2,704,000	2,704,000	0
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	△ 50,546,168	△ 106,593,000	56,046,832
前期末支払資金残高(12)	507,458,102	614,051,102	△ 106,593,000
当期末支払資金残高(11+12)	456,911,934	507,458,102	△ 50,546,168

『初代理事長・一番ヶ瀬康子先生を偲ぶ会』を終えて

去る2013年1月27日に、昨年9月5日にご逝去されたサンフレンズの初代理事長である一番ヶ瀬康子先生を追悼し、先生がサンフレンズに与えてくださった多大な功績を振り返り、それを引き継ぐために、『社会福祉法人サンフレンズ初代理事長・一番ヶ瀬康子先生を偲ぶ会—語り継ぐその思想と功績—』を開催しました。

第一部はサンフレンズ職員研修会と「市民のつどい」との合同開催として、在りし日の一番ヶ瀬先生を対談番組のビデオで拝見することから始まりました。次いで、法人設立の中心者の1人である白川すみ子さんが、杉並・老後を良くする会と一番ヶ瀬先生の41年を顧みました。さらに、旧職員である高橋史子さんと林伸子さんが、一番ヶ瀬先生の思い出を語りました。

白川さんは、「『杉並・老後を良くする会』において一番ヶ瀬先生は、決して専門家主導にならず、ごく普通の主婦をはじめ、地域の住民の主体性、意見や行動力を尊重され、一会員としての協力や、さりげない側面援助などを、長い年月にわたり続けてくださいました。」と感謝を述べ、いくつもの思い出を話されました。時折、言葉を詰まらせていらっしゃった姿が印象的でした。



＜思い出を語る白川すみ子さん＞

高橋さんは、友愛の灯協会の職員として入職したことや、サンフレンズ設立の経緯、理念である「できるだけ自由に」「どこまでも対等に」「他者への思いを生かし合う」について一番ヶ瀬先生が話されていたことを紹介してくださいました。

林さんは、大学時代の恩師であった一番ヶ瀬先

生からサンフレンズへの就職を後押しされたこと、先生との関わりが、その後の頑張りにつながっていることを話されました。

さらに、上井草園開園時に「一番ヶ瀬先生が理事長の法人ならば」と就職した3人の現職員が当時の話をしました。

その後は、大友信勝前理事長が当日の主となる話として、一番ヶ瀬先生が社会福祉学研究に重要な役割を果たし、女性研究者の研究・教育環境の改善にも大きな足跡を残したことや、一番ヶ瀬先生の個人史にも沿った内容の講演を行いました。40分という時間では足りず、もっと時間をとって聞きたいものでした。



＜講演をする大友信勝前理事長＞

最後は山田知子理事長が「生活を構造的に捉え、人生を内側からみつめる」と題し、弟子として教えられたことの4点—①社会福祉の基本は生活問題から出発する②生活環境を構造的に捉える③問題を変革すべく社会へのアクション④社会福祉には豊かな感性が大切である—を述べました。

第二部は来賓の方々のご挨拶を交え、懇親の場としました。実弟の一番ヶ瀬亘様からは、身内の方でなければ聞けないお話を伺え、一番ヶ瀬先生の個性に触れられる大変興味深い話でした。

終始和やかな時間を持つことができ、一番ヶ瀬康子先生という大きな存在でつながったサンフレンズの縁に感慨を深める一日となりました。

『一番ヶ瀬康子先生を偲ぶ会』の内容は冊子にまとめる予定です。

法人への寄付金および物品等を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2013年1月1日から2月28日までにご寄付をいただいた順に掲載しております。

《寄付金》石井昭子様・石井節子様・木村優子様・井出康子様・杉並・老後を良くする会様・土井寿彦様・末岡浩様・林伸子様・匿名希望8名(寄付金のお預かり後、2週間以内に本部事務局より領収書を郵送いたします。届かない場合はお手数ですが、本部事務局までご連絡お願いいたします。)

《物品等》橋爪美子様・小山恭子様・大西久江様・石川和子様・匿名希望3名

サンフレンズ訪問介護センターが移転しました



<私たちが地域の皆さまに安心をお届けします>

サンフレンズ訪問介護センターの歩み

2006年4月 社団法人友愛の灯協会が松ノ木で運営していた高齢者の訪問介護事業を「サンフレンズ友愛介護センター」として引き継ぐ

2010年4月 「サンフレンズ訪問介護センター」に事業所名を変更し高円寺南に移転

2012年8月 障害者福祉サービス事業を開始

2013年4月 当法人のデイサービス「和田ふれあいの家」及び「杉並区立和田サービス付き高齢者向け住宅」と同じ建物内に移転

新住所：〒166-0012 杉並区和田 3-52-4 2階

電話：03-5307-6786 (変更なし)

FAX：03-5378-6787 (変更なし)

MAIL：homon-kaigo@3friends.or.jp (変更なし)

杉並区は2013年4月から「杉並型サービス付き高齢者住宅(24時間の介護・看護を提供する)」を開始すると発表しました。その第一号として現在の「杉並区立和田みどりの里(シルバーピア)」を数年かけて「杉並区立和田サービス付き高齢者向け住宅」に転換するという計画です。

サンフレンズは和田みどりの里とサービス付高齢者住宅の運営を受託することとなりました。

今回「サンフレンズ訪問介護センター」はこの事業の介護部門を担うため同地に移転し、居住者にとって顔なじみの職員から介護保険のサービスや日常のお手伝いなどを受けられることとなります。

今後、訪問介護の24時間対応やデイサービスでの宿泊等、地域の皆さまに、より安心できる暮らしを提案していきたいと考えています。

サンフレンズは様々な事業運営をしている強みを生かし、和田地域の複合施設として、新しい福祉文化を作る努力を続けてまいります。



<気持ちも新たに頑張っています>

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話：03(3394)9833

FAX：03(3394)9834

担当：中山・鳥羽・河野

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E-mail アドレス

kamiigusa@3friends.or.jp